

3. 資料

(1) 外国籍児童・生徒の神奈川県内の在籍状況調査

●平成29年度 神奈川県公立学校外国籍児童・生徒数（市町村別）

（学校基本調査2017年5月1日現在）

地区名	市町村	小学校	中学校	合 計	地区名	市町村	小学校	中学校	合 計
横 浜	横浜市	2, 202	874	3, 076	中	平塚市	166	107	273
川 崎	川崎市	612	180	792		秦野市	152	101	253
相模原	相模原市	381	131	512		伊勢原市	63	34	97
横須賀	横須賀市	141	45	186		大磯町			0
湘南 三浦	鎌倉市	5	1	6		二宮町	4	6	10
	藤沢市	170	60	230		小 計	385	248	633
	茅ヶ崎市	20	12	32	足柄上	南足柄市	5	2	7
	逗子市	13	2	15		中井町	5		5
	三浦市	1		1		大井町			0
	葉山町	5		5		松田町	2	3	5
	寒川町	21	13	34		山北町			0
	小 計	235	88	323		開成町	3		3
						小 計	15	5	20
県央	厚木市	292	129	421	足柄下	小田原市	36	29	65
	大和市	235	113	348		箱根町			0
	海老名市	102	35	137		真鶴町	2		2
	座間市	99	26	125		湯河原町	5		5
	綾瀬市	161	78	239		小 計	43	29	72
	愛川町	132	63	195					
	清川村	1	1	2					
	小 計	1, 022	445	1, 467	県 合 計		5, 036	2, 045	7, 081

(2) 神奈川県内市町村における外国につながる子どもの在籍及び支援の状況 (19 市町)

【愛川町】

2017（平成29）年度神奈川県内市町村における外国につながる子どもの在籍及び支援の状況

教育委員会名・担当部署	愛川町教育委員会・教育総務課
-------------	----------------

1. 外国につながる子どもの在籍状況（愛川町教育委員会からの提供）

①外国人児童生徒（文科省調査の表記による）の在籍数／全体数に対する割合

学年	人数		割合	国別数							
				中国	フィリピン	韓国 朝鮮	ベトナム	ブラジル	ペルー	タイ	その他 不明
小学生	155	2,012	7.70%	2	15			19	32	6	81
中学生	63	1,057	5.96%		5			5	9	1	43

②外国につながる児童生徒についての調査をしていますか。 学校からの報告による。

2. 日本語指導が必要な生徒について

①日本語指導が必要な外国籍児童生徒の在籍数／全体数に対する割合

学年	人数		割合	国別数							
				中国	フィリピン	韓国 朝鮮	ベトナム	ブラジル	ペルー	タイ	その他 不明
小学生	89	2,012	4.42%	内訳不明							
中学生	28	1,057	2.65%								

②日本語指導が必要な日本籍児童生徒の在籍数／全体数に対する割合

学年	人数		割合	国別数（つながる国）							
				中国	フィリピン	韓国 朝鮮	ベトナム	ブラジル	ペルー	タイ	その他 不明
小学生	21	2,012	1.04%	内訳不明							
中学生	8	1,057	0.76%								

③日本語指導が必要な児童生徒に対する日本語に対する支援事業

日本語指導協力者派遣事業（H29年度・小学校3校延べ14名・中学校2校延べ7名）
派遣基準：予算の範囲内で1日2時間の勤務を割り振り

④特別な教育課程としての日本語教育の実施状況

特になし

3. 国際教室の設置状況

①国際教室設置校について

1名加配校：愛川中原中
2名加配校：中津第二小、菅原小

②国際教室ではどんな指導や取組み（イベント）をしていますか。

調理実習（各国の郷土料理）を通じて、その国の文化に触れる。

4. 外国につながる児童生徒及び保護者への上記（2、3）以外の支援状況

・就学時健康診断において通訳派遣2校延べ2名
・新入学生保護者説明会において通訳派遣3校延べ3名
・進路等の面談時に日本語指導協力者派遣事業の予算内で通訳派遣

5. 教員及び支援者等に対する取組みなど

・日本語指導教室担当者会議（研修・情報交換・授業研究など）年3回実施

6. その他特記事項

特になし

【厚木市】

2017（平成29）年度神奈川県内市町村における外国につながる子どもの在籍及び支援の状況

教育委員会名・担当部署	厚木市教育委員会・教育指導課
-------------	----------------

1. 外国につながる子どもの在籍状況（厚木市教育委員会からの提供）

①外国人児童生徒（文科省調査の表記による）の在籍数／全体数に対する割合

学年	人数		割合	国別数							
				中国	フィリピン	韓国 朝鮮	ベトナム	ブラジル	ペルー	タイ	その他 不明
小学生	297	11843	2.51%	24	45	8	73	38	35	3	71
中学生	132	5914	2.23%	8	12	3	28	7	35	3	36

②外国につながる児童生徒についての調査をしていますか。■未回答

2. 日本語指導が必要な生徒について

①日本語指導が必要な外国籍児童生徒の在籍数／全体数に対する割合

学年	人数		割合	国別数							
				中国	フィリピン	韓国 朝鮮	ベトナム	ブラジル	ペルー	タイ	その他 不明
小学生	181	11843	1.53%	13	25	2	55	13	19	2	52
中学生	46	5914	0.78%	3	3	0	10	1	13	2	14

②日本語指導が必要な日本籍児童生徒の在籍数／全体数に対する割合

学年	人数		割合	国別数（つながる国）							
				中国	フィリピン	韓国 朝鮮	ベトナム	ブラジル	ペルー	タイ	その他 不明
小学生	44	11843	0.37%	内訳不明							
中学生	7	5914	0.12%								

③日本語指導が必要な児童生徒に対する日本語に対する支援事業

- ・日本語指導協力者派遣（母国語の分かる）
12言語 24人 小学校18校 中学校5校
派遣基準：原則1年以内 対象者1人につき週3回以内 1回当たり2時間以内
- ・日本語指導教室支援員派遣（補習学習教室）
小学校5校に設置
週1回 2時間以内

④特別な教育課程としての日本語教育の実施状況

- ・特別な教育課程編成実施計画の作成
- ・DLAに関する研修の実施（2017年7月） 講師：東京外国語大学大学院 菅長 理恵 准教授
- ・日本語指導個人シートの作成

3. 国際教室の設置状況

①国際教室設置校について

小学校 11校 中学校 5校
1名加配校 厚木小、依知南小、三田小、厚木第二小、緑ヶ丘小、愛甲小、妻田小、依知小、厚木中、依知中、林中、睦合東中
2名加配校 北小、清水小、戸室小、藤塚中

②国際教室ではどんな指導や取組み（イベント）をしていますか。

- ・各学校の状況に合わせた個別指導及び少人数指導の実施。

4. 外国につながる児童生徒及び保護者への上記（2、3）以外の支援状況

- ・家庭訪問、教育相談等への通訳の派遣（日本語指導協力者）
- ・外国籍児童・生徒、保護者のための対訳集（厚木市教育研究所発行）
厚木市教育委員会ホームページからもダウンロード可

5. 教員及び支援者等に対する取組みなど

- ・外国籍児童・生徒等指導推進部会（国際教室担当者）を年2回開催
- ・日本語指導協力者連絡会を年1回開催

6. その他特記事項

特になし

【綾瀬市】

2017（平成29）年度神奈川県内市町村における外国につながる子どもの在籍及び支援の状況

教育委員会名・担当部署	綾瀬市教育委員会・教育指導課
-------------	----------------

1. 外国につながる子どもの在籍状況（綾瀬市教育委員会からの提供）

①外国人児童生徒（文科省調査の表記による）の在籍数／全体数に対する割合

学年	人数		割合	国別数							
				中国	フィリピン	韓国 朝鮮	ベトナム	ブラジル	ペルー	タイ	その他 不明
小学生	161	4,838	3.33%	5	7	1	44	39	18	9	38
中学生	74	2,377	3.11%	3	3	3	13	25	9	3	15

②外国につながる児童生徒についての調査をしていますか。 重国籍のみ

2. 日本語指導が必要な生徒について

①日本語指導が必要な外国籍児童生徒の在籍数／全体数に対する割合

学年	人数		割合	国別数							
				中国	フィリピン	韓国 朝鮮	ベトナム	ブラジル	ペルー	タイ	その他 不明
小学生	87	4,838	1.80%	1	6	1	22	19	15	5	18
中学生	18	2,377	0.76%	1	1	0	6	3	4	0	3

②日本語指導が必要な日本籍児童生徒の在籍数／全体数に対する割合

学年	人数		割合	国別数（つながる国）							
				中国	フィリピン	韓国 朝鮮	ベトナム	ブラジル	ペルー	タイ	その他 不明
小学生	17	4,838	0.35%	0	3	0	0	0	0	0	14
中学生	0	2,377	0.00%	0	0	0	0	0	0	0	0

③日本語指導が必要な児童生徒に対する日本語に対する支援事業

・母語が話せる日本語指導協力者の派遣。（児童・生徒への指導の補助や面接時の通訳、家庭への通知の翻訳）

④特別な教育課程としての日本語教育の実施状況

・「特別な教育課程」に特化して実施していることはない。

3. 国際教室の設置状況

①国際教室設置校について

・日本語指導が必要な児童または生徒の在籍数が5名以上で教員加配1名、20名以上で教員加配2名。
1名加配校：綾北小学校 北の台小学校 綾北中学校 2名加配校：寺尾小学校 3名加配校：天台小学校

②国際教室ではどんな指導や取組み（イベント）をしていますか。

・サバイバル日本語（日本の学校生活や社会生活について必要な知識、挨拶の言葉ややり取り、など）
・日本語の基礎（①文字や語彙の指導とともに発音の指導を行う。②ひらがな・カタカナ・漢字の指導をする③実物や写真、絵やカードなどを使用して語彙の拡充を図る。④文法的に整った正しい文を作れるようにする。など）
・在籍学級で学習している内容を取り出し指導で復習的に学習したり、入り込み指導として補助を受けながら学習に取り組んだりする。

4. 外国につながる児童生徒及び保護者への上記（2、3）以外の支援状況

・市内で統一された様式の文書（保健調査票、災害時の対応について等）は、まとめて翻訳を行い、市内15校で活用できるようにしている。
・受け入れ時、保護者に各母語（ラオス語・カンボジア語・ベトナム語・ポルトガル語・スペイン語・中国語・英語）で訳された「綾瀬の学校」を配付している。

5. 教員及び支援者等に対する取組みなど

・国際教室担当者会（研修会を含む）を年3回実施。
8月 29年度JSLサテライトセミナー開催（東京学芸大学共催）
東京学芸大学 国際教育センター 吉谷武志 他

6. その他特記事項

特になし

【伊勢原市】

2017（平成29）年度神奈川県内市町村における外国につながる子どもの在籍及び支援の状況

教育委員会名・担当部署	伊勢原市教育委員会・教育指導課
-------------	-----------------

1. 外国につながる子どもの在籍状況（伊勢原市教育委員会からの提供）

①外国人児童生徒（文科省調査の表記による）の在籍数／全体数に対する割合

学年	人数		割合	国別数							
				中国	フィリピン	韓国 朝鮮	ベトナム	ブラジル	ペルー	タイ	その他 不明
小学生	65	4970	1.31%	6	13	1	18	4	7	1	15
中学生	34	2513	1.35%	1	10	0	11	5	3	1	3

②外国につながる児童生徒についての調査をしていますか。 → しています

2. 日本語指導が必要な生徒について

①日本語指導が必要な外国籍児童生徒の在籍数／全体数に対する割合

学年	人数		割合	国別数							
				中国	フィリピン	韓国 朝鮮	ベトナム	ブラジル	ペルー	タイ	その他 不明
小学生	34	4970	0.68%	2	7	1	9	1	5	1	8
中学生	29	2513	1.15%	1	8	0	9	4	3	1	3

②日本語指導が必要な日本籍児童生徒の在籍数／全体数に対する割合

学年	人数		割合	国別数							
				中国	フィリピン	韓国 朝鮮	ベトナム	ブラジル	ペルー	タイ	その他 不明
小学生	8	4970	0.16%	1	3		1	1			2
中学生	8	2513	0.32%		4			2	1		1

③日本語指導が必要な児童生徒に対する日本語に対する支援事業

- ・日本語指導協力者等の派遣（2017年10月20日現在 13校12名）
派遣基準：児童生徒の日本語習得状況を確認し、それに応じた時数を配当する。（今年度は1人あたり最大15時間）
運用方法：学校に配当時数と派遣協力者を伝え、学校と協力者で連絡を取り合い、指導日時を決める。

④特別な教育課程としての日本語教育の実施状況

日本語指導な児童生徒を取り出し指導している。これを特別な教育課程として位置づけて行っている。

3. 国際教室の設置状況

①国際教室設置校について

- 1名加配校（全5校）
小学校（3校）・・・高部屋小学校、比々多小学校、桜台小学校
中学校（2校）・・・山王中学校、成瀬中学校

②国際教室ではどんな指導や取り組み（イベント）をしていますか。

取り出し指導を原則とし、教科書に出てくる言葉の意味や、日常会話で使う言葉など、基礎的な日本語力の醸成を図っている。また、補助教材を購入し、言葉遊びや、国旗、世界の食べ物など、日本語指導を必要としている児童生徒のニーズに合わせた指導をしている。

4. 外国につながる児童生徒及び保護者への上記（2、3）以外の支援状況

- ・日本語指導等協力者が、三者面談時の通訳や、通知表の翻訳・説明等を行っている。
- ・教育委員会に申請に来たときに、日本の学校で生活を行うためのポイント集のような冊子を紹介している。

5. 教員及び支援者等に対する取り組みなど

- 日本語指導等担当教員や国際教室担当教員を対象にした研修会を実施している。
・外国につながる児童生徒への指導等推進連絡会（指導主事による研修）：年1回（4月）
・外国につながる児童生徒への指導等研修会（講師招聘による研修）：年1回（8月）

6. その他特記事項

特になし

【海老名市・小田原市】

教育委員会名・担当部署	海老名市教育委員会・教育支援センター
-------------	--------------------

1. 外国につながる子どもの在籍状況（学校基本調査より）

①外国人児童生徒（文科省調査の表記による）の在籍数／全体数に対する割合

学年	人数		割合
小学生	102	7,247	1.41%
中学生	35	3,528	0.99%

平成29年度神奈川県教育委員会学校基本調査からの引用

②外国につながる児童生徒についての調査をしていますか。 ■未回答

2. 日本語指導が必要な生徒について

①日本語指導が必要な外国籍児童生徒の在籍数／全体数に対する割合 ■未回答

②日本語指導が必要な日本籍児童生徒の在籍数／全体数に対する割合 ■未回答

③日本語指導が必要な児童生徒に対する日本語に対する支援事業

・日本語巡回指導の実施。（H29は市小中19校中、申請のある18校へ派遣。6名体制）

④特別な教育課程としての日本語教育の実施状況

・各校、国際教室設置校の担当教員中心に指導を実施

3. 国際教室の設置状況

①国際教室設置校について

・外国籍児童及び生徒が5名在籍で国際教室設置

②国際教室ではどんな指導や取組み（イベント）をしていますか。

・各校、国際教室設置校の担当教員中心に指導を実施

4. 外国につながる児童生徒及び保護者への上記（2、3）以外の支援状況

・面談等での通訳者派遣

・通知表等の翻訳

5. 教員及び支援者等に対する取組みなど

・市独自の取り組みは特になし

6. その他特記事項

・特になし

2017（平成29）年度神奈川県内市町村における外国につながる子どもの在籍及び支援の状況

教育委員会名・担当部署	小田原市教育委員会・教育指導課
-------------	-----------------

1. 外国につながる子どもの在籍状況（学校基本調査より）

①外国人児童生徒（文科省調査の表記による）の在籍数／全体数に対する割合

学年	人数		割合
小学生	36	9,131	0.39%
中学生	29	4,786	0.61%

平成29年度神奈川県教育委員会学校基本調査からの引用

②外国につながる児童生徒についての調査をしていますか。 ■未回答

2. 日本語指導が必要な生徒について

①日本語指導が必要な外国籍児童生徒の在籍数／全体数に対する割合 ■未回答

②日本語指導が必要な日本籍児童生徒の在籍数／全体数に対する割合 ■未回答

③日本語指導が必要な児童生徒に対する日本語に対する支援事業

平成28年度日本語指導協力者派遣の状況
 ・小中学校19校に派遣 対象児童生徒47名 ・1回1時間程度 年間20回まで
 平成29年度日本語指導協力者派遣の状況（平成29年9月1日現在）
 ・小中学校21校に派遣 対象児童生徒44名 ・1回1時間程度 年間20回まで
 派遣基準：各学校に日本語指導を必要とする児童生徒に係る調査を実施し、日本語指導協力者の派遣について決定する。年度途中転入児童・生徒については、教育委員会で面談を行い、日本語指導協力者の派遣について決定する。

④特別な教育課程としての日本語教育の実施状況

・特になし

3. 国際教室の設置状況

①国際教室設置校について

・国際教室は設置していない

②国際教室ではどんな指導や取組み（イベント）をしていますか。

・国際教室は設置していないため、特になし

4. 外国につながる児童生徒及び保護者への上記（2、3）以外の支援状況

・特になし

5. 教員及び支援者等に対する取組みなど

・日本語指導協力者連絡会を年1回実施

6. その他特記事項

・特になし

【鎌倉市】

2017（平成29）年度神奈川県内市町村における外国につながる子どもの在籍及び支援の状況

教育委員会名・担当部署	鎌倉市教育委員会・教育部教育指導課
-------------	-------------------

1. 外国につながる子どもの在籍状況（鎌倉市教育委員会からの提供）

①外国人児童生徒（文科省調査の表記による）の在籍数／全体数に対する割合

学年	人数		割合	国別数						
				中国	フィリピン	韓国 朝鮮	ベトナム	ブラジル	ペルー	タイ その他 不明
小学生	17	9,488	0.18%	3	3	3	1		1	2
中学生	3	6,263	0.05%		1	2				

②外国につながる児童生徒についての調査をしていますか。 ■未回答

2. 日本語指導が必要な生徒について

①日本語指導が必要な外国籍児童生徒の在籍数／全体数に対する割合

学年	人数		割合	国別数						
				中国	フィリピン	韓国 朝鮮	ベトナム	ブラジル	ペルー	タイ その他 不明
小学生	0	9,488	0.00%							
中学生	0	6,263	0.00%							

②日本語指導が必要な日本籍児童生徒の在籍数／全体数に対する割合

学年	人数		割合	国別数						
				中国	フィリピン	韓国 朝鮮	ベトナム	ブラジル	ペルー	タイ その他 不明
小学生	2	9,488	0.02%	内訳不明						
中学生	1	6,263	0.02%							

③日本語指導が必要な児童生徒に対する日本語に対する支援事業

・日本語指導等協力者派遣事業

④特別な教育課程としての日本語教育の実施状況

なし

3. 国際教室の設置状況

①国際教室設置校について

なし

②国際教室ではどんな指導や取組み（イベント）をしていますか。

なし

4. 外国につながる児童生徒及び保護者への上記（2、3）以外の支援状況

なし

5. 教員及び支援者等に対する取組みなど

・帰国児童生徒等教育担当者会を年1回実施

6. その他特記事項

特になし

【川崎市】

2017（平成29）年度神奈川県内市町村における外国につながる子どもの在籍及び支援の状況

教育委員会名・担当部署	川崎市教育委員会・総合教育センター
-------------	-------------------

1. 外国につながる子どもの在籍状況（学校基本調査より）

①外国人児童生徒（文科省調査の表記による）の在籍数／全体数に対する割合

学年	人数		割合	} 平成29年度神奈川県教育委員会学校基本調査からの引用
小学生	612	74,512	0.82%	
中学生	180	33,145	0.54%	

②外国につながる児童生徒についての調査をしていますか。 ■未回答

2. 日本語指導が必要な生徒について

①日本語指導が必要な外国籍児童生徒の在籍数／全体数に対する割合 ■未回答

②日本語指導が必要な日本籍児童生徒の在籍数／全体数に対する割合 ■未回答

③日本語指導が必要な児童生徒に対する日本語に対する支援事業

- ①日本語指導等協力者派遣事業
・日本語指導が必要な児童生徒に対する初期の日本語指導を目的として、各学校に児童生徒の母語が話せる日本語指導等協力者を派遣
→1人当たりの派遣回数 72回（月8回×7ヶ月・月4回×4ヶ月）
- ②学習支援員（日本語指導等協力者）の派遣事業
・中学時に渡日した中学校3年生の生徒に対して、要望に応じて日本語指導等協力者を派遣

④特別な教育課程としての日本語教育の実施状況

国際教育設置校において、特別の教育課程を編成・実施している。
その他の学校でも帰国・外国人教育担当者や児童指導コーディネーター等が主となり、校内での積極的な支援体制を構築して個別指導を充実させている。指導の実態調査としてその取組について委員会への報告も行っている。
H30年度には特別の教育課程の編成・実施が、市内全校で実施できるように準備・計画をしている。

3. 国際教室の設置状況

①国際教室設置校について

平成29年度は23校（小学校20校、中学校3校）に国際教室を設置（日本語指導が必要な児童生徒が5名以上在籍している学校に置くことができる）
四谷小・川中島小・藤崎小・さくら小・渡田小・小田小・浅田小・田島小・旭町小・宮前小・川崎小・京町小・幸町小・南河原小・古川小
大谷戸小・末長小・東高津小・鷺沼小・有馬小・富士見中・川崎中・渡田中

②国際教室ではどんな指導や取組み（イベント）をしていますか。

行事や学習の状況を踏まえつつ、児童生徒の実態に応じて取り出し指導や入り込みを行い、日本語力を育むための個に応じた支援を実施している。

4. 外国につながる児童生徒及び保護者への上記（2、3）以外の支援状況

- ・母語支援者の新規派遣2016年度は215名
- ・帰国・外国人教育相談事業 総合教育センターを中心に各区教育担当、区役所・就学事務担当と連携した就学及び教育相談
- ・日本語を母語としない生徒への高校進学説明会の実施（11月）
- ・通訳、翻訳バンク事業（区）
- ・国際教育連絡協議会（年1回 小・中の国際教育部会会長、国際教室設置校校長、教育委員会による協議会）
- ・かわさき外国人教育推進資料Q&A「ともに生きる」、帰国・外国人児童生徒指導の手引きQ&Aを発刊、配布。ホームページで閲覧可能にしている。

5. 教員及び支援者等に対する取組みなど

- ・日本語指導等協力者研修会 年4回（日本語指導の計画・実践についての研修、教育フォーラム）
- ・学習支援員研修会 年1回（高校受験の情報等の提供と、情報交換）
- ・国際教室担当者連絡協議会 年2回（国際教室の運営・特別の教育課程、情報交換）
- ・帰国、外国人児童生徒教育担当者研修 年2回（帰国・外国人教育に関する情報や特別の教育課程について。やさしい日本語の研修等）
- ・多文化子ども塾、放課後子ども総合プラン等の研修会で帰国・外国人児童生徒に係る方々に研修を実施

6. その他特記事項

特になし

【相模原市】

2017（平成29）年度神奈川県内市町村における外国につながる子どもの在籍及び支援の状況

教育委員会名・担当部署	相模原市教育委員会・学校教育課
-------------	-----------------

1. 外国につながる子どもの在籍状況（相模原市教育委員会からの提供）

①外国人児童生徒（文科省調査の表記による）の在籍数／全体数に対する割合

学年	人数		割合	国別数							
				中国	フィリピン	韓国 朝鮮	ベトナム	ブラジル	ペルー	タイ	その他 不明
小学生	376	36,657	1.03%	109	69	22	27	8	18	7	116
中学生	134	17,616	0.76%	29	36	6	7	7	6	5	38

②外国につながる児童生徒についての調査をしていますか。 はい

2. 日本語指導が必要な生徒について

①日本語指導が必要な外国籍児童生徒の在籍数／全体数に対する割合

学年	人数		割合	国別数							
				中国	フィリピン	韓国 朝鮮	ベトナム	ブラジル	ペルー	タイ	その他 不明
小学生	208	36,657	0.57%	48	32	11	15	5	14	6	77
中学生	40	17,616	0.23%	14	9	0	2	0	0	0	15

②日本語指導が必要な日本籍児童生徒の在籍数／全体数に対する割合

学年	人数		割合	国別数							
				中国	フィリピン	韓国 朝鮮	ベトナム	ブラジル	ペルー	タイ	その他 不明
小学生	51	36,657	0.14%	内訳不明							
中学生	14	17,616	0.08%								

③日本語指導が必要な児童生徒に対する日本語に対する支援事業

・日本語巡回指導講師 2016年度登録者数25名、実施回数2683回、担当期間：1年から1年6か月間 ・日本語指導等協力者 母語のサポート、通訳等、2016年度登録者数40名、実施回数1026回（そのうち、通訳128回）、担当期間：最大1年間 実施頻度：両方とも1週間1日2コマ分（コマの間に休み時間がある） 小学校：45分、45分 中学校：50分、50分
--

④特別な教育課程としての日本語教育の実施状況

2016～2017年度は国際教室設置校にて試行。2018年度から本格実施

3. 国際教室の設置状況

①国際教室設置校について

・国際教室の設置基準 日本語指導を要する外国人（籍）児童・生徒が一定数在籍する学校に設置され、それとともない担当教員が1名加配されて指導にあたる。 ・2017年度国際教室設置校 小学校12校（淵野辺小、中央小、清新小、相模台小、光が丘小、作の口小、大島小、弥栄小、宮上小、新宿小、もえぎ台小、富士見小） 中学校3校（相模台中、清新中、内出中）

②国際教室ではどんな指導や取組み（イベント）をしていますか。

・形式 各校によってまちまち（一対一、複数指導、教室に行き指導を行うなど） ・内容 日本語指導や教科指導 多文化紹介（集会で多国語の挨拶の言葉の紹介、民族衣装の紹介、給食、ビデオの閲覧等） 掲示板の多言語表記（大島小：中国語表記、相模台小：英語表記） ・具体例 相模台小：学校のホームページは英語表記あり

4. 外国につながる児童生徒及び保護者への上記（2、3）以外の支援状況

・通訳 三者面談、保護者会、入学説明会、修学旅行説明会等 ・多言語版「外国人児童・生徒の手引き」の発行（現在10カ国語で作成） スペイン語、ポルトガル語、ラオス語、ベトナム語、中国語、韓国・朝鮮語、カンボジア語、タガログ語、タイ語、英語 この手引きは、市内小・中学校及び公民館、市立図書館で閲覧できる。データ化しているが学校のみが閲覧できる。

5. 教員及び支援者等に対する取組みなど

3種類 ・日本語指導合同連絡会（年1回）参加者：日本語巡回指導講師、日本語指導等協力者 ・国際教室担当者会（年1回） ・日本語指導研究会（年2回）参加者：日本語巡回指導講師、日本語指導等協力者、国際教室担当者

6. その他特記事項

・国際理解教育担当が教育課程を作成し、支援の窓口は支援教育コーディネーターが対応にあたることもある。 ・さがみはら国際交流ラウンジと協力関係をとっている。
--

【座間市】

2017（平成29）年度神奈川県内市町村における外国につながる子どもの在籍及び支援の状況

教育委員会名・担当部署	座間市教育委員会・教育部教育指導課
-------------	-------------------

1. 外国につながる子どもの在籍状況（座間市教育委員会からの提供）

①外国人児童生徒（文科省調査の表記による）の在籍数／全体数に対する割合

学年	人数		割合	国別数							
				中国	フィリピン	韓国 朝鮮	ベトナム	ブラジル	ペルー	タイ	その他 不明
小学生	100	6,365	1.57%	17	24	5	10	7	11	4	22
中学生	26	3,072	0.85%	4	5	4	3	4	3	0	4

②外国につながる児童生徒についての調査をしていますか。 ■未回答

2. 日本語指導が必要な生徒について

①日本語指導が必要な外国籍児童生徒の在籍数／全体数に対する割合

学年	人数		割合	国別数							
				中国	フィリピン	韓国 朝鮮	ベトナム	ブラジル	ペルー	タイ	その他 不明
小学生	44	6,365	0.69%	3	16	0	3	2	4	1	15
中学生	10	3,072	0.33%	1	2	1	1	0	0	0	5

②日本語指導が必要な日本籍児童生徒の在籍数／全体数に対する割合

学年	人数		割合	国別数（つながる国）							
				中国	フィリピン	韓国 朝鮮	ベトナム	ブラジル	ペルー	タイ	その他 不明
小学生	8	6,365	0.13%	1	1	0	1	0	3	0	2
中学生	0	3,072	0.00%	0	0	0	0	0	0	0	0

③日本語指導が必要な児童生徒に対する日本語に対する支援事業

- ・『座間市外国人帰国子女日本語指導等協力者派遣事業』として一人平均9回程度日本語指導協力者が支援している。指導者19名。
- ・母語による日本語指導（教科指導も含む）
- ・有償 1回2時間 5000円（交通費込み）

④特別な教育課程としての日本語教育の実施状況

なし

3. 国際教室の設置状況

①国際教室設置校について

文科省の設置基準
小学校 11校中9校 除外 立野台小、入谷小
中学校 6校中1校 東中学校のみ

②国際教室ではどんな指導や取組み（イベント）をしていますか。

- ・日本語の基礎と授業でわからない内容の補習
- ・例）小学校の体験活動の一つとして、保護者による出身国の紹介

4. 外国につながる児童生徒及び保護者への上記（2、3）以外の支援状況

- ・日本語指導
生徒にあわせて、回数を決める。
生徒数 62名 一人あたり平均で9回程度
- ・必要に応じて派遣。面談時の保護者向けの通訳等。
- ・他の団体の紹介

5. 教員及び支援者等に対する取組みなど

・国際教室及び日本語指導担当者連絡協議会 年1回実施
参加者：各学校の担当者
内容：事務的連絡、学校の状況や課題の検討、情報交換
2回目は必要に応じて行う予定

6. その他特記事項

特になし

【逗子市・茅ヶ崎市】

2017（平成29）年度神奈川県内市町村における外国につながる子どもの在籍及び支援の状況

教育委員会名・担当部署	逗子市教育委員会・学校教育課
-------------	----------------

1. 外国につながる子どもの在籍状況（学校基本調査より）

①外国人児童生徒（文科省調査の表記による）の在籍数／全体数に対する割合

学年	人数		割合
小学生	13	2,818	0.46%
中学生	2	1,996	0.10%

平成29年度神奈川県教育委員会学校基本調査からの引用

②外国につながる児童生徒についての調査をしていますか。 ■未回答

2. 日本語指導が必要な生徒について

①日本語指導が必要な外国籍児童生徒の在籍数／全体数に対する割合 ■未回答

②日本語指導が必要な日本籍児童生徒の在籍数／全体数に対する割合 ■未回答

③日本語指導が必要な児童生徒に対する日本語に対する支援事業

日本語指導講師派遣事業（2017年度9月時点：5校9名）
派遣基準：週2回、1回1単位時間（45分）で編入から最長2年間を目安に派遣

④特別な教育課程としての日本語教育の実施状況

実施していません。

3. 国際教室の設置状況

①国際教室設置校について

設置ありません。

②国際教室ではどんな指導や取り組み（イベント）をしていますか。

設置ありません。

4. 外国につながる児童生徒及び保護者への上記（2、3）以外の支援状況

特に該当することがありません。

5. 教員及び支援者等に対する取り組みなど

特に該当することがありません。

6. その他特記事項

特にありません。

2017（平成29）年度神奈川県内市町村における外国につながる子どもの在籍及び支援の状況

教育委員会名・担当部署	茅ヶ崎市教育委員会・教育推進課 学校教育指導課
-------------	-------------------------

1. 外国につながる子どもの在籍状況（学校基本調査より）

①外国人児童生徒（文科省調査の表記による）の在籍数／全体数に対する割合

学年	人数		割合
小学生	20	13,163	0.15%
中学生	12	6,313	0.19%

平成29年度神奈川県教育委員会学校基本調査からの引用

②外国につながる児童生徒についての調査をしていますか。 ■未回答

2. 日本語指導が必要な生徒について

①日本語指導が必要な外国籍児童生徒の在籍数／全体数に対する割合 ■未回答

②日本語指導が必要な日本籍児童生徒の在籍数／全体数に対する割合 ■未回答

③日本語指導が必要な児童生徒に対する日本語に対する支援事業

・日本語指導協力者の派遣（2017年12月現在、小学校10校・中学校5校に7名を派遣。対象児童生徒数小学校18名・中学校5名）

④特別な教育課程としての日本語教育の実施状況

特になし。

3. 国際教室の設置状況

①国際教室設置校について

なし

②国際教室ではどんな指導や取り組み（イベント）をしていますか。

なし

4. 外国につながる児童生徒及び保護者への上記（2、3）以外の支援状況

特になし

5. 教員及び支援者等に対する取り組みなど

・日本語指導協力者連絡会を年1回実施。

6. その他特記事項

特になし

【中井町】

2017（平成29）年度神奈川県内市町村における外国につながる子どもの在籍及び支援の状況

教育委員会名・担当部署	中井町教育委員会
-------------	----------

1. 外国につながる子どもの在籍状況（学校基本調査より）

①外国人児童生徒（文科省調査の表記による）の在籍数／全体数に対する割合

学年	人数	割合
小学生	5	464
中学生	0	260

平成29年度神奈川県教育委員会学校基本調査からの引用

②外国につながる児童生徒についての調査をしていますか。 ■未回答

2. 日本語指導が必要な生徒について

①日本語指導が必要な外国籍児童生徒の在籍数／全体数に対する割合 ■未回答

②日本語指導が必要な日本籍児童生徒の在籍数／全体数に対する割合 ■未回答

③日本語指導が必要な児童生徒に対する日本語に対する支援事業

日本語指導巡回指導員の派遣（2016年 3校で1名 週5日勤務）

④特別な教育課程としての日本語教育の実施状況

2017年度より町内2校で国際教室の開設予定
それともなう「特別的教育課程」・「学習支援票」等も作成予定
2016年度は、巡回指導員による個別日本語指導を実施中

3. 国際教室の設置状況

①国際教室設置校について

2017年度より 井ノ口小で1名 中井中で1名 加配予定

②国際教室ではどんな指導や取組み（イベント）をしていますか。

実施計画中

4. 外国につながる児童生徒及び保護者への上記（2、3）以外の支援状況

かながわ国際協力財団より 通訳派遣 2月に1回予定あり

5. 教員及び支援者等に対する取組みなど

2016年度 国際理解教育担当者連絡会 12月に実施
2017年度も実施計画予定（年3回程度）

6. その他特記事項

井ノ口小で日本語指導ボランティアさん1名（中国語 元教員が週1回）

【平塚市】

2017（平成29）年度神奈川県内市町村における外国につながる子どもの在籍及び支援の状況

教育委員会名・担当部署	平塚市教育委員会・教育指導課
-------------	----------------

1. 外国につながる子どもの在籍状況（平塚市教育委員会からの提供）

①外国人児童生徒（文科省調査の表記による）の在籍数／全体数に対する割合

学年	人数		割合	国別数							
				中国	フィリピン	韓国 朝鮮	ベトナム	ブラジル	ペルー	タイ	その他 不明
小学生	183	13,013	1.41%	15	36	8	6	39	10		69
中学生	107	6,609	1.62%	7	21	3	9	23	11		33

②外国につながる児童生徒についての調査をしていますか。■未回答

2. 日本語指導が必要な生徒について

①日本語指導が必要な外国籍児童生徒の在籍数／全体数に対する割合 ■未回答

②日本語指導が必要な日本籍児童生徒の在籍数／全体数に対する割合 ■未回答

③日本語指導が必要な児童生徒に対する日本語に対する支援事業

日本語指導協力者の派遣

④特別な教育課程としての日本語教育の実施状況

日本語指導協力者を派遣し、日本語指導を行っている児童生徒に対して、特別な教育課程を編成し実施してもらっている。

3. 国際教室の設置状況

①国際教室設置校について

1名…崇善小、大野小、城島小、みずほ小、神田中、神明中
2名…神田中
3名…横内小

②国際教室ではどんな指導や取組み（イベント）をしていますか。

在籍者の出身国をテーマにしたイベントなど

4. 外国につながる児童生徒及び保護者への上記（2、3）以外の支援状況

通訳支援（教育相談など）
翻訳支援（学校からの大切なお便りや通知表など）

5. 教員及び支援者等に対する取組みなど

国際教室等連絡協議会を年3回実施

6. その他特記事項

なし

【藤沢市】

2017（平成29）年度神奈川県内市町村における外国につながる子どもの在籍及び支援の状況

教育委員会名・担当部署	藤沢市教育委員会・教育指導課
-------------	----------------

1. 外国につながる子どもの在籍状況（学校基本調査より）

①外国人児童生徒（文科省調査の表記による）の在籍数／全体数に対する割合

学年	人数		割合
小学生	170	24,545	0.69%
中学生	60	13,315	0.45%

平成29年度神奈川県教育委員会学校基本調査からの引用

②外国につながる児童生徒についての調査をしていますか。 ■未回答

2. 日本語指導が必要な生徒について

①日本語指導が必要な外国籍児童生徒の在籍数／全体数に対する割合 ■未回答

②日本語指導が必要な日本籍児童生徒の在籍数／全体数に対する割合 ■未回答

③日本語指導が必要な児童生徒に対する日本語に対する支援事業

- ・日本語指導教室（藤沢市立湘南台小学校）への通級。
学校の要望に応じて受けいれ。
通級の条件：小学生は、保護者の送迎が必要。中学生は、中学校教員免許を持つ者が同行。
- ・日本語指導員における巡回指導（2017年12月現在 34校へ 対象児童生徒96名）
派遣基準：日本語を話すことができない児童生徒（週に2～3時間）
日常生活ができ、教科の補習や日本語指導が中心の児童生徒（月に2時間、週に1～2時間）

④特別な教育課程としての日本語教育の実施状況

- ・国際教室においての指導のみ、特別な教育課程を編成している。

3. 国際教室の設置状況

①国際教室設置校について

- ・平成29年度は、小学校4校、中学校2校に設置。

②国際教室ではどんな指導や取組み（イベント）をしていますか。

- ・年に4～5回、国際教室担当者連絡会を行い、指導方法や児童生徒について情報共有を行っている。
- ・年に1回、外国につながる児童生徒の保護者説明会を開催し、受験に関する情報や各機関の外国人サポートについて情報提供を行っている。

4. 外国につながる児童生徒及び保護者への上記（2、3）以外の支援状況

- ・個人面談等への通訳派遣、文書の翻訳。

5. 教員及び支援者等に対する取組みなど

- ・国際教室配置校担当者会を年に2回実施し、研修や情報交換を行っている。
2016年5月の研修会：「特別的教育課程」におけるDLAの活用について
講師 東京外国語大学 副学長 小林 幸江氏
- 2017年5月の研修会：外国人児童生徒のための支援について
講師 NPO法人多文化共生教育ネットワークかながわ 高橋 清樹氏
- ・全校に国際教育担当者をおき、年に1回、外国につながる児童生徒のサポートについて情報提供を行っている。
- ・日本語指導員連絡会を年に2回実施し、国際教室の授業参観や教材等の情報交換を行っている。

6. その他特記事項

- ・外国につながる児童生徒の保護者会を実施
主催：国際教室担当教諭と担当管理職で構成する国際教室配置校連絡会（藤沢市教育委員会後援）
日時：2017年9月15日（金）午後7時～9時
場所：藤沢市湘南台文化センター
内容：①日本語指導員の紹介 ②卒業生（高校生・大学生）の話 ③高校の先生の話 ④高校入試の説明 ⑤関係機関の紹介 ⑥各
ブースに分かれて情報交換
参加者：スペイン語4名 ポルトガル語5名 中国語7名 ベトナム語2名 タガログ語2名 英語22名 合計42名
通訳：スペイン語2名 ポルトガル語2名 中国語2名 ベトナム語1名 タガログ語1名 英語2名（中学校の英語科の先生による通訳3名）

【三浦市】

2017（平成29）年度神奈川県内市町村における外国につながる子どもの在籍及び支援の状況

教育委員会名・担当部署	三浦市教育委員会・学校教育課
-------------	----------------

1. 外国につながる子どもの在籍状況（三浦市教育委員会からの提供）

①外国人児童生徒（文科省調査の表記による）の在籍数／全体数に対する割合

学年	人数		割合	国別数							
				中国	フィリピン	韓国 朝鮮	ベトナム	ブラジル	ペルー	タイ	その他 不明
小学生	1	1,732	0.06%	1							
中学生	4	986	0.41%	1	1			2			

②外国につながる児童生徒についての調査をしていますか。 ■未回答

2. 日本語指導が必要な生徒について

①日本語指導が必要な外国籍児童生徒の在籍数／全体数に対する割合 ■未回答

②日本語指導が必要な日本籍児童生徒の在籍数／全体数に対する割合 ■未回答

③日本語指導が必要な児童生徒に対する日本語に対する支援事業

・事業としては行っていない

④特別な教育課程としての日本語教育の実施状況

・事業としては行っていない

3. 国際教室の設置状況

①国際教室設置校について

・設置していません

②国際教室ではどんな指導や取組み（イベント）をしていますか。

・設置していません

4. 外国につながる児童生徒及び保護者への上記（2、3）以外の支援状況

・行っておりません

5. 教員及び支援者等に対する取組みなど

・行っておりません

6. その他特記事項

特になし

【大和市】

2017（平成29）年度神奈川県内市町村における外国につながる子どもの在籍及び支援の状況

教育委員会名・担当部署	大和市教育委員会・教育部指導室
-------------	-----------------

1. 外国につながる子どもの在籍状況（大和市教育委員会からの提供）

①外国人児童生徒（文科省調査の表記による）の在籍数／全体数に対する割合

学年	人数		割合	国別数							
				中国	フィリピン	韓国 朝鮮	ベトナム	ブラジル	ペルー	カンボジア	その他 不明
小学生	235	11,915	1.97%	44	30		52	17	42	10	40
中学生	127	5,739	2.21%	16	27		15	9	24	6	15

②外国につながる児童生徒についての調査をしていますか。 ■未回答

2. 日本語指導が必要な生徒について

①日本語指導が必要な外国籍児童生徒の在籍数／全体数に対する割合 ■未回答

②日本語指導が必要な日本籍児童生徒の在籍数／全体数に対する割合 ■未回答

③日本語指導が必要な児童生徒に対する日本語に対する支援事業

・日本語指導員の派遣 8名 回数は在籍数による 国際教室設置校以外：年度当初（学校指導課の判断）の担当者会議で、指導の必要性、回数と人数を決める。 指導基準 5名未満 年間10回 6名から15名 年間20回 10名から25名 年間30回 26名以上 年間40回をベースに、学校により査定 60名以上 回数的に多めに、一週間1、2回の程度で、年間70回が最大 ・教育相談員 9言語 17名派遣 母語による学習支援 通訳・翻訳 双方とも資格を設けていないが、長く支援に携わる方

④特別な教育課程としての日本語教育の実施状況

指導室としては集約していないが、今後に向けて体制を整えていく予定である。学校ごとに取り出し授業等を実施している。
--

3. 国際教室の設置状況

①国際教室設置校について

文科省の設置基準

②国際教室ではどんな指導や取組み（イベント）をしていますか。

各学校で実施 渋谷中学校の例 ・年1回交流会実施。お料理教室等。 ・年度当初の入学者説明会（外国につながる子どもの保護者向け）
--

4. 外国につながる児童生徒及び保護者への上記（2、3）以外の支援状況

・教育相談員 9名 学習支援や母語による支援 来日したての場合は、集中して派遣。週1回程度の入り込みで、1、2ヶ月間実施。 ・ガイドブック「楽しい学校」の発行 「はじめての日本語」「外国人児童生徒保護者のための手引き」「教科編 教科書によく出てくる漢字や言葉」 ・生活者ちらしの配布 スペイン語、ベトナム語、英語
--

5. 教員及び支援者等に対する取組みなど

研修会 年2回 1回目 年度当初 担当教員、日本語指導員、教育相談員を交えて、事務的説明。その後、中学校区に分かれて、それぞれの立場で意見を交換する。 2回目 検討中

6. その他特記事項

・学校PSメール多言語 ・多言語ナビの活用 他の団体の情報共有、例えば、JSLカリキュラムの研修 ・インターネットによる情報共有 教育委員会サーバー 関係者専用のサーバー 小学校 学校PSメール、通知書、ちらし「寺子屋大和」
--

【横須賀市】

2017（平成29）年度神奈川県内市町村における外国につながる子どもの在籍及び支援の状況

教育委員会名・担当部署	横須賀市教育委員会・学校教育部 支援教育課
-------------	-----------------------

1. 外国につながる子どもの在籍状況（学校基本調査より）

①外国人児童生徒（文科省調査の表記による）の在籍数／全体数に対する割合

学年	人数	割合
小学生	141	18,822
中学生	45	10,195

平成29年度神奈川県教育委員会学校基本調査からの引用

②外国につながる児童生徒についての調査をしていますか。 ■未回答

2. 日本語指導が必要な生徒について

①日本語指導が必要な外国籍児童生徒の在籍数／全体数に対する割合 ■未回答

②日本語指導が必要な日本籍児童生徒の在籍数／全体数に対する割合 ■未回答

③日本語指導が必要な児童生徒に対する日本語に対する支援事業

日本語指導員の派遣（2017年12月25日現在、市内で140名の児童生徒に日本語指導実施中。小学校32/46校 中学校11/23校 高校1/1校に派遣）

日本語指導員の派遣依頼が学校から市教委にあった際、まず日本語の力を確認するため国際教育コーディネーターによるアセスメントを実施する。その結果を受け、日本語指導員の派遣を決定する。原則、週1回1時間、最長2年間の指導を行う。

④特別な教育課程としての日本語教育の実施状況

国際教室設置校に於いて実施。年度当初に担当教員が実施計画を作成し、教育委員会に提出。個別の指導計画に関しては作成後、学校保管。

3. 国際教室の設置状況

①国際教室設置校について

- ・1名加配校 小学校2校 中学校2校
- ・2名加配校 小学校2校

②国際教室ではどんな指導や取組み（イベント）をしていますか。

<指導形態>

- ・児童生徒の実態に応じて、週1～5時間程度一斉授業から抜き出し、個別で日本語指導や教科の補充指導を行う。

<具体的な取組> *学校独自のもの

- ・「国際教室保護者懇談会」を行い、担当者から日本での学校生活に関わる連絡やお願い等を保護者に伝えている。
- ・国際教室からの宿題を毎日出している。（本人、保護者と相談しながら）

4. 外国につながる児童生徒及び保護者への上記（2、3）以外の支援状況

- ・三者面談時に通訳の派遣
- ・学校便り等の翻訳
- ・学校生活ガイドブックの発行（英語・ポルトガル語・スペイン語・中国語）

5. 教員及び支援者等に対する取組みなど

- ・国際教室担当者連絡会 年2回実施（特別の教育課程について、各校の取り組みの情報共有等）
- ・日本語指導員研修会 年3回実施（教材教具の情報交換・事例検討・DLAテスター研修等）

6. その他特記事項

「学校生活適応支援員」の派遣

- ・日本語が全く分からずに状態で転編入してきた児童に対し、学校への適応を対象児童の母語でサポートする。36時間の派遣。派遣終了後日本語指導員に指導を引き継ぐ。

【横浜市】

横浜市における日本語指導が必要な児童生徒教育・支援

H29年 5月 1日 国際教育課

1 横浜市における外国籍及び外国につながる児童生徒数（小・中・義務教育学校）

(5月1日現在)				
	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)
外国籍・外国につながる	7,488	8,034	8,423	9,129
外国籍	2,367	2,601	2,856	3,111
国別				
中国(台湾を含む)	913	1,115	1,323	1,519
フィリピン	320	354	388	391
韓国・朝鮮	274	256	254	249
ベトナム	236	232	229	236
ブラジル	154	155	160	161
ペルー	131	122	108	97
アメリカ合衆国	37	32	35	38
タイ	38	35	40	37
インドネシア	18	24	28	37
ネパール	11	13	22	37
外国につながる	5,121	5,433	5,567	6,018

※国籍及びつながる国の総数：102 か国

日本語指導が必要	1,444	1,538	1,670	2,080
----------	-------	-------	-------	-------

※日本国籍、帰国児童生徒含む

2 国際教室担当教員配置校

- 日本語指導が必要な児童生徒への指導を担当する教員を配置
- 国際教室を設置し、日本語指導、教科指導、生活適応指導等を行う

★配置期間：1年間

★配置目安：日本語初期指導が必要な児童生徒数に応じて配置。(H29より配置基準変更。外国につながる児童生徒も含む。)

年度	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)
配置校数	64	71	80	109
小学校	50	54	60	85
中学校	14	17	20	24

★H29設置校(109校)*

(小)85校(内 新規校:26校)

市場小、入船小、潮田小、駒岡小、汐入小、下野谷小、新鶴見小、末吉小、鶴見小、豊岡小、生麦小、馬場小、平安小、矢向小、青木小、池上小、浦島小、神橋小、幸ヶ谷小、子安小、菅田小、羽沢小、三ツ沢小、東小、西前小、平沼小、宮谷小、大島小、本町小、元街小、山元小、立野小、石川小、大岡小、太田小、永田小、永田台小、中村小、日枝小、藤の木小、藤田小、南吉田小、港南台第三小、野庭すずかけ小、日根山小、帷子小、笹山小、瀬戸ヶ谷小、富士見台小、弘向小、今宿小、今宿南小、蓮根小、根岸小、浜小、森東小、洋光台第三小、洋光台第四小、瀬ヶ崎小、並木第一小、文庫小、六浦小、能見台小、並木中央小、十日市場小、中山小、霧が丘義務教育学校(前期)、榎が丘小、つつじが丘小、勝田小、川和東小、茅ヶ崎東小、柏尾小、川上北小、小雀小、戸塚小、東戸塚小、平戸台小、本郷小、飯田北いちよう小、上飯田小、相沢小、阿久和小、上瀬谷小、瀬谷第二小

(中)24校(内 新規校:6校)

市場中、潮田中、寛政中、鶴見中、矢向中、浦島丘中、老松中、岡野中、仲尾台中、本牧中、港中、横浜吉田中、共進中、永田中、平楽中、笹下中、岩井原中、森中、中山中、東鴨居中、平戸中、舞岡中、いずみ野中、上飯田中

3 日本語指導が必要な児童生徒に対する支援事業

- 日本語指導が必要な児童生徒が一定数に在籍する学校に、在籍数に応じて「日本語指導が必要な児童生徒支援非常勤講師」を配置する【H25～】
- 日本語指導が必要な児童生徒が一定数に在籍する学校に、「外国語補助指導員」を1名配置する【H25～】

★H29配置状況

◇日本語指導が必要な児童生徒支援非常勤講師 (小)10校、(中)4校

潮田小、入船小、下野谷小、鶴見小、東小、本町小、元街小、日枝小、南吉田小、飯田北いちよう小、潮田中、鶴見中、港中、横浜吉田中

◇外国語補助指導員 (小)7校、(中)1校

潮田小、東小、本町小、元街小、日枝小、南吉田小、飯田北いちよう小、横浜吉田中

4 日本語支援拠点施設

- プレクラス:新たに転・編入学してきた児童生徒を対象に、1か月間、週3日の集中的な日本語指導及び学校生活の体験を行う(9月～実施予定)
- 学校ガイダンス:新たに転・編入学してきた児童生徒及びその保護者を対象に、英語、中国語、タガログ語、やさしい日本語による日本の学校生活等についてのガイダンス及び児童生徒の学習状況の確認を行う
- 電話相談:学校ガイダンス実施日に、当日対応言語で学校生活についての電話相談に対応

5 横浜市日本語教室

- 日本語の初期指導が必要な帰国及び外国人児童生徒に対して、日本語指導資格をもった講師が指導を行う
- 指導体制
 - 【集中教室(児童生徒が通級)】 Y校教室、豊岡教室、飯田北いちよう教室、並木第一教室、横浜吉田教室
月曜日～金曜日・週2回 計40～70回 (約1年)
 - 【派遣指導(日本語講師を各学校へ派遣)】
月曜日～金曜日・週1回 計25～55回 (約1年半)
 - 【日本語講師の対応言語内訳】
H29年度:34名(非常勤講師)
中国語(21) 英語(17) スペイン語(7) ポルトガル語(4) 韓国・朝鮮語(3) タイ語(2)
イタリア語(1) インドネシア語(1) フランス語(1)
- ★入級者数(1児童生徒につき、1回まで)

年度	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)
合計	378	511	553	554
集中教室	93	130	146	150
派遣指導	285	381	407	404

※H29/5/1 現在

6 母語による初期適応・学習支援事業

- 対象となる日本語指導が必要な児童生徒へ母語のできるボランティアによる初期適応・学習支援を行う
- 国際教室が設置されていない学校に在籍する対象児童生徒1人につき20回を学校に配当
- 国際教室設置校に在籍する対象児童生徒1人につき10回を学校に配当

7 学校通訳ボランティア(保護者対応)

- 市立小・中・義務教育学校における転入学の説明、個人面談、入学説明会、家庭訪問等における通訳を行う
- ボランティアの派遣は、公益財団法人横浜市国際交流協会(YOKE)に業務委託

★派遣実績(回)

年度	H25(2013)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)
回数	784	924	985	1,222

8 各種ガイドブック等発行(配布・HP)

《横浜市教育委員会HP掲載》

- 「ようこそ横浜の学校へ」【H24～】
 - I 日本語指導が必要な児童生徒受入れの手引
 - II 学校通知文・用語対訳集 (※7カ国語対訳)
 - III 保護者の方へ ～横浜の学校生活～ (※7カ国語対訳)
 ※やさしい日本語、英語、中国語、スペイン語、タガログ語、韓国・朝鮮語、ポルトガル語、ベトナム語
- 「横浜市帰国児童生徒教育ガイド」【S56～】

9 日本語指導者養成講座・日本語指導者養成上級講座

- 日本語指導の仕方、日本語指導が必要な児童・生徒の受入れと指導等を主題とした教員研修
 - (1) 日本語指導者養成講座
 - 全校対象(全7回、募集人員90名、国際教室担当1年目の教員は悉皆参加)
 - (2) 日本語指導者養成上級講座
 - 主に日本語指導者養成講座を前年度までに修了した教員を対象(全3回、募集人員50名)
 - ※日本語指導者養成講座未修了の場合も受講可

10 教育委員会事務局 外国語指導主事助手

- 対応言語:ポルトガル語、中国語、英語、スペイン語(計5人)
- 学校管理職から電話で要請
⇒教育委員会事務局 指導部 国際教育課 国際理解・多文化共生教育担当 (671-3588)



2017（平成29）年度神奈川県内市町村における外国につながる子どもの在籍及び支援の状況

教育委員会名・担当部署	横浜市教育委員会・国際教育課
-------------	----------------

1. 外国につながる子どもの在籍状況（横浜市教育委員会からの提供）

①外国人児童生徒（文科省調査の表記による）の在籍数／全体数に対する割合

学年	人数		割合	国別数							
				中国	フィリピン	韓国 朝鮮	ベトナム	ブラジル	ペルー	タイ	その他 不明
小学生	2,211	180,127	1.23%	1,104	259	193	174	98	69	21	293
中学生	900	78,586	1.15%	415	132	56	62	63	28	16	143

②外国につながる児童生徒についての調査をしていますか。 はい

2. 日本語指導が必要な児童生徒について

①日本語指導が必要な外国籍児童生徒の在籍数／全体数に対する割合

学年	人数		割合	国別数							
				中国	フィリピン	韓国 朝鮮	ベトナム	ブラジル	ペルー	タイ	その他 不明
小学生	1,050	180,127	0.58%	545	133	25	98	48	45	5	151
中学生	378	78,586	0.48%	206	45	5	23	32	12	6	49

②日本語指導が必要な日本籍児童生徒の在籍数／全体数に対する割合

学年	人数		割合	国別数							
				中国	フィリピン	韓国 朝鮮	ベトナム	ブラジル	ペルー	タイ	その他 不明
小学生	532	180,127	0.30%	225	122	13	4	33	6	16	113
中学生	120	78,586	0.15%	43	39	7	2	3	3	4	19

③日本語指導が必要な児童生徒に対する日本語に対する支援事業

・「国際教室担当教員・日本語指導非常勤講師」：日本語指導が必要な児童生徒数に応じて担当教員・非常勤講師を配置（担当教員：小学校85校、中学校24校 非常勤講師：小学校10校、中学校4校、詳細別紙） ・「外国語補助指導員」：日本語指導が必要な生徒数に応じて1名配置（小学校7校、中学校1校、詳細別紙） ・「日本語支援拠点施設」：＜プレクラス＞新たに転・編入してきた児童生徒対象に1か月間（週3日）の集中的な日本語指導及び学校生活の体験を行う。＜さくら教室＞新小学校1年生が日本の学校に速やかに適応できるよう、学校生活の体験や学習の準備を行う。その他、＜学校ガイダンス＞、＜電話相談＞の実施。詳細は別紙 ・「横浜市日本語教室」：日本語指導の資格を持った講師を配置 ①集中教室（5教室）：生徒が通級 ②派遣指導：日本語講師を各学校へ派遣 ・「母語による初期適応・学習支援」：母語のできるボランティアを配置（詳細別紙）

④特別な教育課程としての日本語教育の実施状況（DLAに関する研修など）

・研修：日本語指導の仕方、日本語指導が必要な児童生徒の受入れと指導等を主題とした教員研修 ①「日本語指導者養成講座」：国際教室担当1年目の教員は全員参加 ②「日本語指導者養成上級講座」：①を終了した教員対象 講師：東京外国語大学教授 伊東祐郎先生、他

3. 国際教室の設置状況

①国際教室設置校について

- ・日本語指導が必要な児童生徒数に応じて担当教員を配置。 設置校：合計109校（小学校85校、中学校24校、設置校は別紙）

②国際教室ではどんな指導や取組み（イベント）をしていますか。

- ・「取り出し・入り込み」による日本語指導および教科指導
- ・保護者による料理紹介
- ・運動会：多言語でもアナウンス
- ・給食メニューに各国料理
- ・多言語によるパネルディスカッション
- ・世界地図で出身地を紹介
- ・母語保持講座の開催（中国語講座等）

4. 外国につながる児童生徒及び保護者への上記（2、3）以外の支援状況

- ・学校通訳ボランティア（保護者対応）：転入学、個人面談、入学説明会、家庭訪問における通訳
ボランティア派遣は、YOKEに業務委託 2016年度1,222回派遣
 - ・各種ガイドブック等発行
 - ① 学校通知文・用語対訳集（7か国語対訳）
 - ② 保護者の方へ～横浜の学校生活（7か国語対訳）
- いずれも、ホームページで公開している。
- ・各国際交流ラウンジで実施している学習教室への生徒の参加を促すなど協力している。

5. 教員及び支援者等に対する取組みなど

- ・ガイドブック発行
「日本語指導が必要な児童生徒受入れの手引き」
- ・「日本語指導者養成講座」：国際教室担当1年目の教員は全員参加
- ・管理職向け研修
- ・国際教室担当者会議（年4回）：進路・グループ授業発表・相談会

6. その他特記事項

- ・面接指導：12・1月、市の主催する日本語教室で、高校入学試験対策として行っている。